



自己決定のうらにある子どもの願いと問い

校長 馬渡 照代

先月、4年生が、初めて宿泊体験学習に出かけました。実行委員を中心に入念に準備を重ねていましたので、当日は、充実した活動になったことと思います。子どもたちの様子については、7月号でお知らせいたします。

さて、新年度も2ヶ月が経ち、どの学年も落ち着きを見せています。特に1年生は、随分学校生活にも慣れ、学習はもちろん給食や掃除などの当番活動に、一生懸命取り組んでいます。大岡小では、先輩が1年生に学校生活の大切なことを教えに行く、という良き伝統がありますが、その一つに4年生が「牛乳パックの開き方を教える」という活動があります。これは、1年生にとってはハードルの高いことなのですが、4年生がマンツーマンで一緒に開けながら丁寧に教えていましたので、皆、上手に開けられるようになりました。長方形になった牛乳パックを見て、ニコニコの笑顔があふれ、4年生の子どもたちも、満足感でいっぱいの表情を浮かべていました。お互い、良い経験になったようです。

また、「大岡の時間」では、この時期、3年生以上の総合的な学習の時間で、1年かけて取り組む活動内容を決めます。本校では、「材（学習材）を立ち上げる。」と言うのですが、各学級で立ち上がってきましたので、今年もゴール目指してどのような探究が行われるのか、本当に楽しみです。1・2年生の「大岡の時間」は、生活科ですので、学習内容が多岐に渡ります。この時期は、「学校たんけん」「花や野菜などを育てる活動」が中心となります。

ところで、私は、大岡小に着任したばかりの頃、この栽培活動で「目から鱗」の体験をしました。私の教員生活では、1年生で育てる花はアサガオであり、「アサガオセット」を購入して育てるのが当たり前でした。この時期、植木鉢や支柱の入った「アサガオセット」の大きな段ボールがいくつも届くのですが、大岡小には、いつになっても届きませんでした。まだ注文していないのかな、と思っていると、低学年の子どもたちが、大きな植木鉢やプランターを持って登校して来ました。不思議に思って、「その植木鉢、どうするの？」と尋ねると、その子は、「ひまわりを育てるの。大きく元気に育てて欲しいと思って、これにしたの。」と答えてくれました。プランターを持ってきた子にも尋ねると、「これに土をたっぷり入れて、水を毎日あげて、大きなピーマンを作るんだ！」と、目を輝かせて話してくれました。

このことについて担任に聞いてみると、「大岡小では、子どもたちが育てたい花や野菜を自分で選び、それに合った容器を家の人と相談して決めて自分で用意します。ですから、植木鉢なども、皆一様ではありません。そして、自分で育てると決めた花や野菜ですので、最後まで一生懸命育てます。その中で様々なことに気づき、探求していきます。」とのことでした。「なるほど。」と、私は、大いに感心させられました。苗を植え終わった子どもたちは、「午前と午後の日当たりが違うから、場所を変えよう。」「葉っぱが白くなっている。何でかな。」等、色々なことに気づき、調べたり考えたりしながら一生懸命育てていました。そして、それらは、毎年繰り返される光景でもあります。

このように、本校では、色々な場面で子どもたち自身が自己決定しながら学んでいくことが多々あります。それが実現できるのも保護者の皆様のご理解あってのことと思ひ、感謝の気持ちでいっぱいです。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、本校では、「いじめ防止対策委員会」を定期的で開催し、積極的ないじめ認知を心がけています。委員会では、いじめの未然防止や早期発見、起きた際には迅速な対応ができるよう、全教職員に指導もしています。いじめを認知した場合は、児童支援専任を中心に組織で対応し、安心して学校生活を送れるようになるまで、当該関係の子どもたちに寄り添って見守りを続けます。その際は、スクールカウンセラーなどの各関係機関とも連携して対応します。これからも引き続き、教職員のいじめに対する意識を高め、大岡小が、子どもたちにとって安心して過ごせる場となるよう、そして、保護者・地域の皆様とも連携・協力し、取り組んでまいります。重ねて、よろしくお願ひいたします。